［純資産の部］			
Ⅰ　資本金			
政府出資金	34,972,222		
資本金合計		34,972,222	
Ⅱ　資本剰余金			
資本剰余金	27,954,863		
減価償却相当累計額（△）㈱	△ 17,675,274		
減損損失相当累計額（△）㈱	△ 9,948		
利息費用相当累計額（△）㈱	△ 13,092		
除売却差額相当累計額（△）㈱	△ 1,003,106		
資本剰余金合計		9,253,442	
Ⅲ　利益剰余金			
前中期目標期間繰越積立金㈱	19,248,547		
目的積立金	2,465,891		
積立金	7,385,182		
当期未処分利益	2,192,411		
（うち当期総利益　2,192,411）			
利益剰余金合計		31,292,032	
純資産合計			75,517,697
負債純資産合計			91,823,556

㈱　これらは、国立大学法人等固有の会計処理に伴う勘定科目である。

注記事項

１．翌期の運営費交付金から充当されるべき賞与見積額　1,197,407千円

２．翌期以降の運営費交付金から充当されるべき退職給付見積額　9,083,638千円

３．担保提供資産残高及び債務残高

土　地　8,566,000千円

建　物　733,950千円

長期借入金　3,995,449千円

４．保証債務残高

独立行政法人大学改革支援・学位授与機構債務負担金　12,332千円

５．利益剰余金のうち、法人移行時における固有の会計処理等に起因するもの

①　国からの承継時において、附属病院の建物、構築物等の時価評価等により、借入金見合いの資産の額が、当期借入金に係る債務負担額を下回っていたこと等によるもの

附属病院等に関する借入金の元金償還額の累計　27,453,709千円

当該借入金により取得した資産の減価償却費の累計　9,816,174千円

利益剰余金に与える影響額（差引き）　17,637,534千円

②　国立大学法人等が獲得した附属病院収益と診療機器等にかかる減価償却費見合いの収益化額が二重になっていることによるもの

法人移行時に国から承継した資産について承継時に負債として計上していた額のうち、資産の減価償却費が診療経費に分類されるものに関する当該負債の収益化累計額　1,073,097千円

③　国からの承継時において、附属病院の財産的基礎と考えられる未収附属病院収入のうち、国からの出資でなく譲与としたことによるもの　532,661千円

④　国からの承継時において、附属病院の財産的基礎と考えられる医薬品及び診療材料について、国からの出資でなく譲与としたことによるもの　381,405千円

19,624,698千円

損　益　計　算　書

（令和７年４月１日～令和８年３月31日）　（単位：千円）

［経常費用］			
業務費			
教育経費	2,485,850		
研究経費	1,405,056		
診療経費	19,584,118		
教育研究支援経費	824,859		
受託研究費	1,035,139		
共同研究費	305,908		
受託事業費等	339,343		
役員人件費	112,972		
教員人件費	8,761,706		
職員人件費	12,938,995	47,793,952	
一般管理費		1,131,572	
財務費用			
支払利息	43,394	43,394	
雑損		176,516	
経常費用合計			49,145,435
［経常収益］			
運営費交付金収益	㈱	11,376,070	
授業料収益	㈱	3,260,041	
入学料収益	㈱	432,917	
検定料収益		99,608	
施設費収益	㈱	107,588	
補助金等収益	㈱	1,937,724	
附属病院収益		30,581,598	
受託研究収益	㈱	1,151,045	
共同研究収益	㈱	356,033	
受託事業等収益	㈱	333,165	
寄附金収益	㈱	654,034	